

# ポルトガル月報

2015年7月号

(本報は報道等の公開情報を当館が取りまとめたものです)

在ポルトガル日本国大使館

## 【主要ニュース】

- [内政] カヴァコ・シルヴァ大統領による共和国議会選挙投票日の発表 (22 日)
- [外交] パソス・コエリョ首相のカーボヴェルデ及びギニアビサウ訪問 (4-6 日)
- [経済] 政府によるポルトガル国鉄貨物部門の民営化発表 (23 日)

## 内政

### ●インテルカンポス社による世論調査 (9 日)

「プブリコ」紙によると、インテルカンポス社による世論調査(実施期間6月26日～7月4日)では、最大野党の社会党(PS)が37.6%、連立与党(社会民主党(PSD)及び民衆党(CDS/PP))が32.7%の支持率を獲得した。また、誰が首相に相応しいか、との質問に対しては、コスタ社会党書記長が42.3%、パソス・コエリョ首相が31.6%を集める結果となった。

#### 【政党別支持率(%)】

社会党(PS)	37.6%
連立与党(PSD+CDS/PP)	32.7%
統一民主連合(CDU)*	11%
左翼連合(BE)	6%

\*共産党(PCP)及び緑の党(PEV)による政党連合。

### ●ユーロソルダージェン社による世論調査(10日)

週刊「エスプレッソ」紙によると、ユーロソルダージェン社による世論調査(実施期間7月2～7日)での政党別支持率は、最大野党の社会党(PS)が、前月から0.2ポイント減の36.7%、連立与党が前月より1.3ポイント増の34.6%であった。

#### 【政党別支持率(%)】(直近3か月の支持率推移)

	5月	6月	7月
社会党(PS)	38.1	36.9	36.7
連立与党(PSD+CDS)	33.6	33.3	34.6
統一民主連合(CDU)	10.3	10.5	10.2
左翼連合(BE)	4.8	4.5	4.8
共和国民主党(RDP)**	2.5	2.7	2.5
自由の党(PL)**	1.8	2.0	1.9

\*\*RDP及びPLは共和国議会で議席を有していない。

### ●カヴァコ・シルヴァ大統領による共和国議会選挙投票日の発表(22日)

カヴァコ・シルヴァ大統領は記者会見を行い、任期満了に伴う共和国議会選挙を10月4日に実施する旨を発表した。また同大統領は、投票日発表の際、過去4年間緊縮財政によってもたらされた国民への犠牲につき触れ、未だ多くの課題が残っており、福祉の向上を図るためにも政治的安定が不可欠で次期政権が国会内で過半数を獲得することが望ましい旨強調した。



(大統領府 HP  
から転載)

## 外交

### ●パソス・コエーリョ首相のカーボヴェルデ及びギニアビサウ訪問（4～6日）

パソス・コエーリョ首相はカーボヴェルデを訪問、同国の独立40周年記念行事に出席し、ネーヴェス・カーボヴェルデ首相と会談した。会談後の共同記者会見で同首相は、カーボヴェルデが中所得国となったことを称賛し、緊密な二国間の外交・政治関係を強調した他、インフラ、エネルギー、環境、保健、人材育成、アグロインダストリー、観光、先端技術、海洋の分野で更なる関係発展の余地があるとし、共に海洋国家である両国が海洋安全保障の分野で協力を発展させていく意向を示した。



（パソス・コエーリョ首相（左）：政府HPから転載）

続いてギニアビサウを訪問したパソス・コエーリョ首相はペレイラ・ギニアビサウ首相と会談した他、同行したマシェッテ外相、マセード保健相、ポルトガルの企業関係者らと共にペレイラ首相出席の元、二国間経済セミナーに出席した。パソス・コエーリョ首相はセミナーにおいて、参加した企業関係者へギニアビサウへの投資を呼びかけた他、両国間の協力関係が健全で両国の未来に利益をもたらさう旨、ギニアビサウが現在の政治的な安定性を今後も継続していく必要がある旨述べた。



（パソス・コエーリョ首相（左）：政府HPから転載）

### ●ニュシ・モザンビーク大統領のポルトガル訪問（16～19日）

ポルトガルを公式訪問したニュシ・モザンビーク大統領は、カヴァコ・シルヴァ大統領他と会談を行った。

カヴァコ・シルヴァ大統領は会談後の記者会見において、ポルトガルがモザンビークの政治的安定と平和のために今後も支援を行っていく意向を示したほか、ニュシ大統領からは両国の緊密な経済関係につき言及があり、農業、エネルギー、観光、交通、漁業等の分野で今後更なる協力が可能であるとの意向が示された。会談では今後の両国間の査証手続き簡略化についても協議された。またニュシ大統領は、同行した150人のモザンビーク企業関係者と共に経済セミナーに参加した。



（ニュシ大統領（左）と握手するカヴァコ・シルヴァ大統領（右）：大統領府HPから転載）

### ●チャブシュオール・トルコ外相のポルトガル訪問（27日）

ポルトガルを訪問したチャブシュオール・トルコ外相は、マシェッテ外相と会談を行い、在ポルトガル・トルコ大使館におけるテロ事件（1983年6月27日に発生）の犠牲者追悼式典に参加した。

同式典に参列したマシェッテ外相は、ポルトガルとトルコの間には宗教の違いを超えて友情を育み共に成長していくことが可能であることを示している旨強調した。

### ●アブダラー・アラブ首長国連邦外相のポルトガル訪問（27日）

ポルトガルを訪問したアブダラー・アラブ首長国連邦外相は、カヴァコ・シルヴァ大統領を表敬訪問し

たほか、ポルトガ副首相らの同席のもと、両国間の経済関係促進を目的とした第2回二国間委員会へ出席した。

同委員会においてポルトガ副首相は、ポルトガル製品の対アラブ首長国連邦向け輸出が2億ユーロまで増加し、同国でビジネスを行うポルトガル企業も450社から750社へと増加したことを強調した。同副首相はアブダラー外相と共に両国間の観光、航空部門での協力に関する合意文書に署名した。



(署名を行うポルトガ副首相(左)とアブダラー外相:政府HPより転載)

## 経済

### ●2014年の貿易収支(財)(速報値)(7日)

国立統計院(INE)は、2014年の貿易収支(財)について、輸出481億7710万ユーロ(前年比1.8%増)、輸入588億5380万ユーロ(前年比3.2%増)で貿易赤字は前年比で9億6680万ユーロ増加し106億7670万ユーロとなった旨発表した。

### ●5月の貿易収支(財)(9日)

国立統計院(INE)は、2015年5月の貿易収支(財)について、輸出42億3300万ユーロ(前年同月比3.5%増)、輸入53億1300万ユーロ(同6.2%増)であった旨、また、直近3か月(3~5月)については、輸出128億8580万ユーロ(前年同期比8%増)、輸入158億5150万ユーロ(同11%増)で、貿易収支▲29億6580万ユーロとなっている旨発表した。直近3か月間における輸出入の主な品目別伸び率(前年同月比)は、以下のとおり。

輸出品目別:燃料・潤滑剤(+61.6%)

輸入品目別:輸送機器関連品(+24.6%)、

燃料・潤滑剤(+16.8%)

### [直近3か月の貿易収支推移]

	3月	4月	5月	合計
輸出額	4398	4255	4233	12886
前年同月比	11.3%	9.5%	3.5%	8.0%
輸入額	5296	5243	5313	15852
前年同月比	11.4%	15.9%	6.2%	11.0%
貿易収支	▲868	▲988	▲1080	▲2965.8

(注)輸出入及び貿易収支額の単位は百万ユーロ。

### ●短期国債の入札(15日)

ポルトガル国庫公債管理庁(IGCP)は、6か月物及び1年物短期国債の入札を実施し、発行予定額(合わせて12.5~15億ユーロ)を上回る合計17.85億ユーロを調達した。6か月物の落札額は6.5億ユーロ、落札平均利回りは0.014%、応札倍率は2.1倍であった。また、1年物の落札額は11.35億ユーロ、落札平均利回りは0.088%、応札倍率は2.1倍であった。

### ●2011年以降償還期限が最長の長期国債の発行(22日)

ポルトガル国庫公債管理庁(IGCP)は、5年物及び22年物長期国債の入札を実施し、発行予定額(合わせて10~12.5億ユーロ)を上回る15億ユーロを調達した。落札平均利回りはそれぞれ、5年物:1.4232%、22年物:3.5341%であった。なお、22年物国債は、ポルトガルが財政支援を求めた2011年以降発行されたものの中で償還期限が最長のものとなった。

### ●政府によるポルトガル国鉄貨物部門の民営化発表(23日)

セルジオ・モンテイロ経済省インフラ・運輸・通信担当副大臣は、ポルトガル国鉄(CP)貨物部門をスイスに本社を持つ海運会社MSC(Mediterranean Shipping Company)の鉄道部門に5300万ユーロで売却する旨発表した。ポルトガル国鉄(CP)の民営化事業は、トロイカとの合意によってその実施が義務づ

けられていたもの。

## ●2015年上半期の予算執行状況（財政赤字）

（24日）

財務省は、本年上半期の財政赤字について、38億430万ユーロ（前年同期より3億7080万ユーロ減）であると発表した。

## ●6月の雇用統計（速報値）（30日）

国立統計院（INE）は、6月の雇用統計（速報値）を発表し、失業率は12.4%、失業者数63万6400人であった。また若年失業率（15～24歳）は31.6%（前月比0.5ポイント増）で、若年失業者数は11万2500人であった。なお、5月の雇用統計（確定値）は12.4%と、速報値（13.2%）から大きく下方修正された。

## 社会・その他

### ●マリア・バローゾ・ソアレス元大統領夫人逝去

（7日）

ソアレス元大統領夫人で女優、元共和国議会議員のマリア・バローゾ女史が入院先の病院で逝去した（享年90歳）。同女史は独裁政権下でソアレス元大統領らと共に民主化運動に参加、1974年の革命後は共和国議会議員に選出された他、社会党創設者の唯一の女性として「社会党の母」と呼ばれ、ポルトガルの民主化に貢献した人物として各界で影響を与えた。

葬儀、通夜にはアントニオ・コスタ社会党書記長らポルトガル政界をはじめとする各界からの多くの参列者が見られた他、カヴァコ・シルヴァ大統領、エステーヴェス共和国議会議長らから弔意のメッセージが寄せられた。